

学校行事参加型＋講演型＋体験活動参加型（中学校）

学校名	海津市立城南中学校
実施日	令和元年12月7日（土）10:20～11:20
会場	城南中学校体育館
参加人数	433名＜生徒335名・保護者70名・教職員27名＞ （第一部は全校生徒・第二部は2年生と保護者のワークショップ）
学習課題（分野）	キャリア講演会（卒業生のお話を聞く会）
運営者の願い	年齢に近い高校生から、進学先での実際の生活の様子や、進路決定までの思いを聞くことを通して、自分の進路決定までの道筋や、残された時間をどのように過ごせばよいのかを考えさせたい。

学習の内容

<開会式>

- ・ はじめの言葉（2年生学級委員）
もうすぐ3年生となり初めての岐路。進路選択に生かしてもらいたい。
- ・ 講師紹介（校長）

<第一部・講演会> 各10分程度

- 岐阜女子高等学校 食物科 2年
→進路決定を保護者に認めてもらう生活すること
→将来に向けて自分が頑張っていること
- 大垣商業高等学校 会計科 3年
→高校で部活動と学習を両立させることの価値
→けがを通して学んだこと
- 大垣商業高等学校 会計科 3年
→資格を取ることが将来につながっていく
→隙間時間を活用した勉強方法
- 大垣東高等学校 普通科 2年
→努力することで自分の力が高まっていく
→見通しをもったテスト取組と日々の生活リズム



高校生の講演

部活動でもエースとして活躍
学業との両立



質疑・応答

<質疑・応答> 中学生・保護者から高校生へ質問

- ・ 生活リズムについて→朝寝坊をしたことにとっても後悔
- ・ 行事について→中学時と比較して高校での学校行事と取組を紹介
- ・ 入学して一番嬉しかった事→好成绩、辛かった事→レベルの高さ など

<第二部・2年生と保護者のKJ法によるワークショップ>

2年生と保護者混合の小グループとなり、進路を決定するにあたり大切にすべきことを話し合い、意見を付箋に書き出して模造紙にまとめた。

- ・ 現在の夢は何か。
- ・ 将来、自分はどのような方向に進みたいのか。高校選択で大切なこと。
- ・ （保護者へ）どのような理由で現在の進路を決めたのかなどを交流した。

<閉会式>

- ・ お礼の言葉（2年学級代表）
- ・ 家庭教育学級閉会式（家庭教育学級長）

<保護者アンケートより>

- ・ 子どもたちが高校生活をどのように過ごすのかがよくわかった。
- ・ 現役の高校生の頑張っている姿をみられてとても刺激になった。兄弟に高校生がいるので家に帰ったら今日の話聞かせたい。交流会もよかった。
- ・ 中学校での3年間、そして高校での3年間は子供をとっても成長させると感じた。このように成長できる高校3年間である進路選択をしてほしいと思った。
- ・ 話が分かりやすく、まとめられていた。素晴らしいと思った。今日話を聞き、進路決定の心構えや子に寄り添ってサポートしていきたいと思った。 など



講演会の様子



工夫のポイント①

全校合唱発表会後に実施
全保護者対象ではあるが、主に2年生保護者を位置づけ、活動も入れた。



工夫のポイント②

高校生との事前の打合せ
話す内容を割り振ることで、高校生は自分の伝えたい内容を絞り込み具体的に伝えることができた。



質疑・応答

事前に中学生に質問内容を聞き、高校生に質問傾向を伝えることで、すぐ応答できるよう準備ができた。



アンケート実施

アンケートをとることで、保護者の感想を知ることができ、振り返りもできた。

今後の課題

① 開催時期

三者懇談の後に実施したので、懇談前に実施した方がより効果的だったと感じた。

② 発表者

今回は4人とも女子だったので、男子の話も入れる。